

パイプシステム収納 施工・取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI 南海プライウッド株式会社
NANKAI PLYWOOD

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社販売員まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換・補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

- 注意**
- ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工・取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合には当社での保証はしかねますのでご注意ください。
 - お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

パーツセット明細

寸法単位: mm

各パーツには以下を同梱しています。すべて揃っているかをご確認ください。

丸型ロングソケット	ビスL=50×3本 ∞	六角レンチ (2mm) ×1本
各ブラケット	六角レンチ (2mm) ×1本	
パイプ固定ビス	パイプ固定ビス×10本	

躯体準備

寸法単位: mm

- 施工前に躯体の垂直・直角を確認してください。
- 本製品は天井面・壁面・床面に対してビスL=50で固定します。
 - ・天井面・壁面の取り付け位置に必ず下地合板(12mm厚以上)もしくは、それと同等以上の補強を行なってください。
 - ・床面は12mm厚以上のフローリングなどを用いて施工を行なってください。

プランによって施工条件・ 施工方法が異なります。

床一背壁固定プラン : 3 ページへ

床一天井固定プラン : 1 ページへ

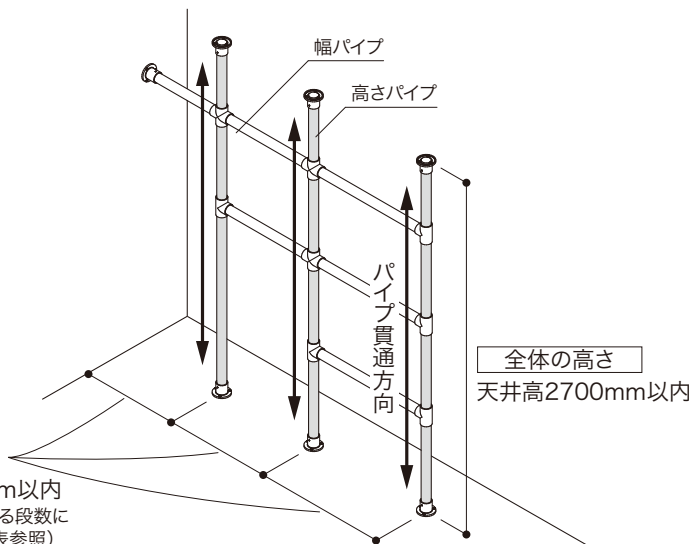
施工前の確認事項

床一天井固定プラン

寸法単位: mm

- パイプの貫通方向は右図のように縦方向としてください。
- ジョイントパーツはパイプが奥まで入るようにあらかじめ回転止め用ネジをゆるめてください。
- 全体の高さ : 天井高 2700mm 以内に設置してください。
- 全体の幅 : 制限はありません。
- 列の数 : 制限はありません。
- 1列当たりの幅 : 芯々寸法の間隔は 1500mm 以内にしてください。
- 段の数 : 1列当たりの幅 寸法により、設置できる段数に制限があります。

1列当たりの幅 (芯々寸法)	設置可能段数
~349mm以内	~1段
350mm~599mm以内	~2段
600mm~1500mm以内	~3段



注意

施工・取付作業は必ず2人以上で行なってください。

1列当たりの幅

芯々寸法: 1500mm以内
※寸法により、設置できる段数に制限があります。(上表参照)

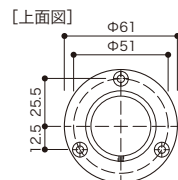
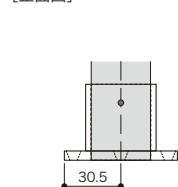
施工手順

床一天井固定プラン

寸法単位: mm

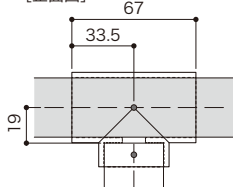
- 1 下図を参照してパイプをカットしてください。

丸型ロングソケット [正面図]

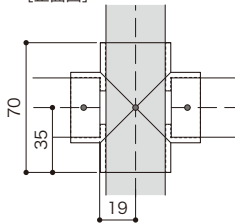


※両側壁納めのプランで壁に固定する幅パイプ、床一天井固定プランに使用する高さパイプは、5mm程度短くカットしてください。

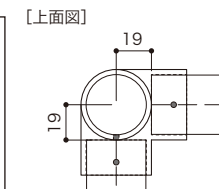
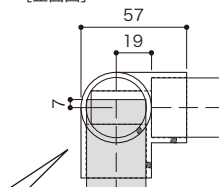
T字ブラケット [正面図]



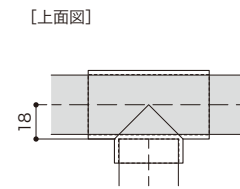
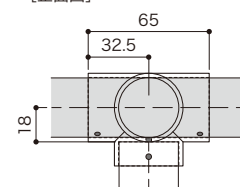
十字ブラケット [正面図]



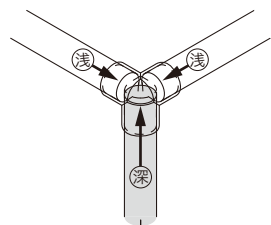
三方L字ブラケット [正面図]



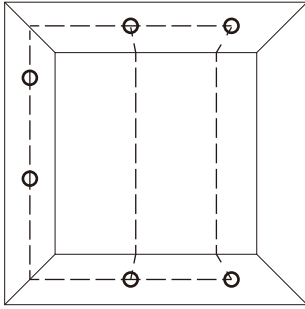
四方L字ブラケット [正面図]



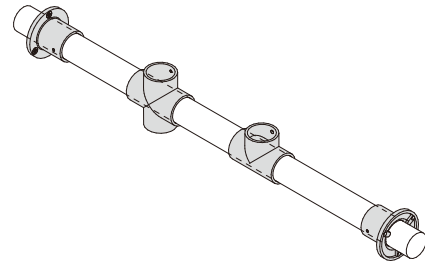
三方L字ブラケットは、高さパイプが深く刺さり込むようにしてください。



2 丸型ロングソケットを取り付ける位置に墨出しをします。

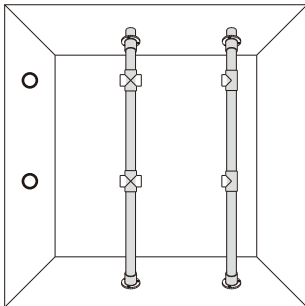


3 必要なジョイントパーツをパイプに通した状態で仮固定します。

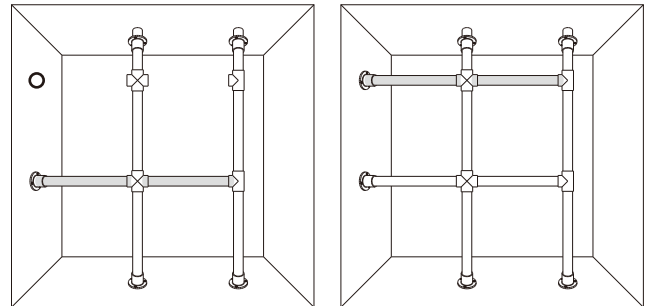


4 パイプシステム収納を組み上げます。

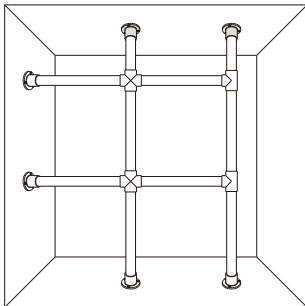
(1) 高さパイプを丸型ロングソケットで床に取り付けます。



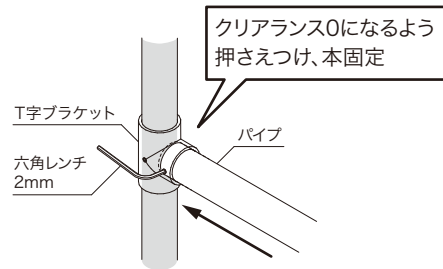
(2) 幅パイプを下側から順に取り付けます。



(3) 高さパイプを丸型ロングソケットで天井に取り付け、全体を組み上げます。



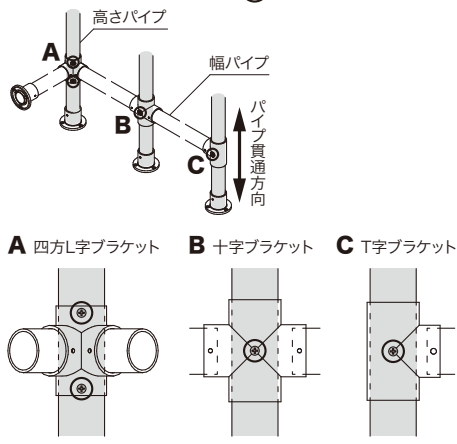
5 寸法・水平・垂直を確認しながら、回転止め用ネジを付属の六角レンチで閉めて本固定してください。



※ 1 で短くカットしたパイプのクリアランスは丸型ロングソケット側で調整するようにしてください。

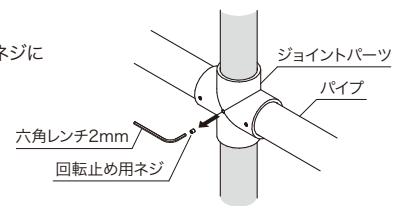
6 パイプ固定ビスが必要な箇所を固定します。

例：ビス固定位置(下図 ○)



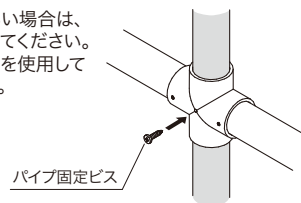
(1) 回転止め用ネジを外します。

※パイプ固定ビスで固定後に回転止め用ネジに戻すことはできません。



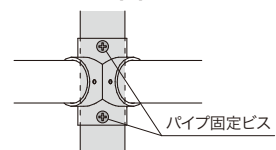
(2) パイプ固定ビスで、パイプとジョイントパーツを固定します。

※ビスが固定しづらい場合は、下穴(φ3)を開けてください。
※電動式ドライバーを使用して固定してください。



注意

端部をパイプ固定ビスで止める際は、ジョイントパーツが割れないように固定してください。



施工前の確認事項

床一背壁固定プラン

- パイプの貫通方向は右図のように縦方向としてください。
- ジョイントパーツはパイプが奥まで入るようにあらかじめ回転止め用ネジをゆるめてください。

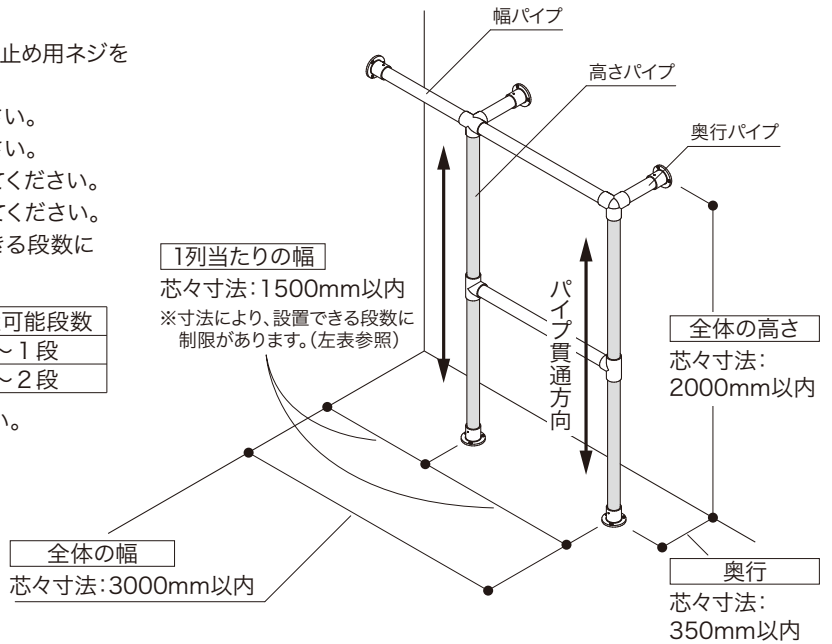
- **全体の高さ** : 芯々寸法は 2000mm 以内にしてください。
- **全体の幅** : 芯々寸法は 3000mm 以内にしてください。
- **列の数** : 納め方に関わらず、最大 3 列までにしてください。
- **1列当たりの幅** : 芯々寸法の間隔は 1500mm 以内にしてください。
- **段の数** : **1列当たりの幅** 寸法により、設置できる段数に制限があります。

1列当たりの幅 (芯々寸法)	設置可能段数
~599mm以内	~1段
600mm~1500mm以内	~2段

- **奥行** : 芯々寸法は 350mm 以内にしてください。

ご注意

施工・取付作業は必ず2人以上で行なってください。



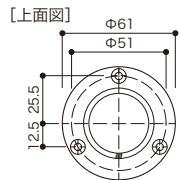
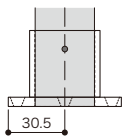
施工手順

床一背壁固定プラン

寸法単位: mm

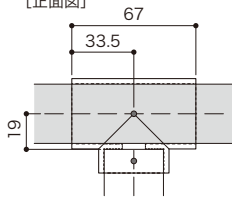
1 下図を参照してパイプをカットしてください。

丸型ロングソケット
[正面図]

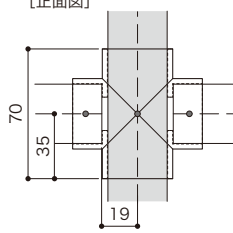


※両側壁納めのプランで壁に固定する幅パイプは、5mm程度短くカットしてください。

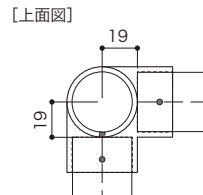
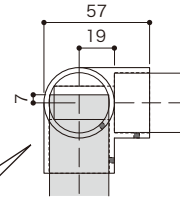
T字ブラケット
[正面図]



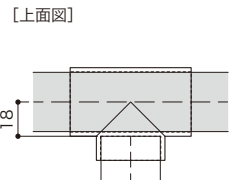
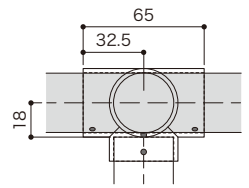
十字ブラケット
[正面図]



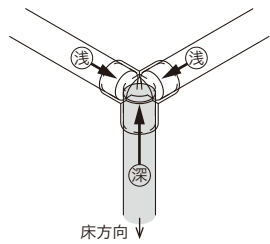
三方L字ブラケット
[正面図]



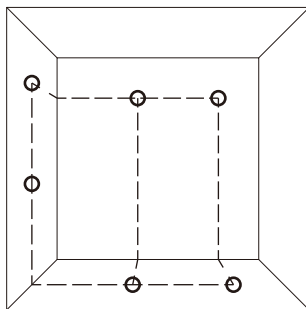
四方L字ブラケット
[正面図]



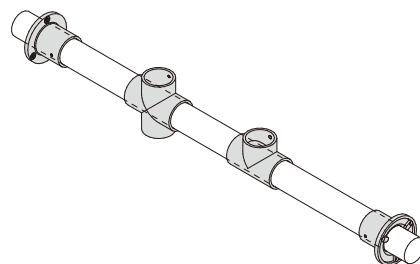
三方L字ブラケットは、高さパイプが深く刺さり込むようにしてください。



2 丸型ロングソケットを取り付ける位置に墨出しをします。

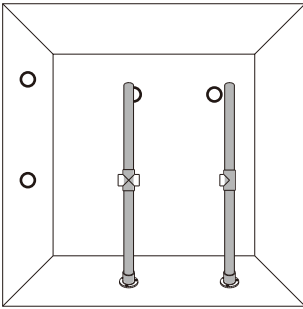


3 必要なジョイントパーツをパイプに通した状態で仮固定します。

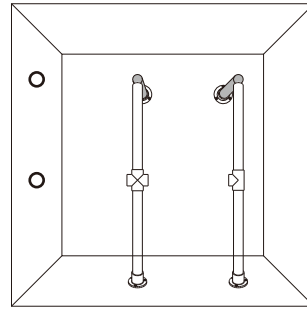


4 パイプシステム収納を組み上げます。

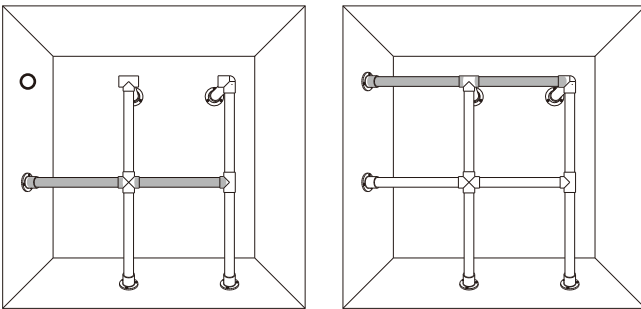
(1) 高さパイプを丸型ロングソケットで床に取り付けます。



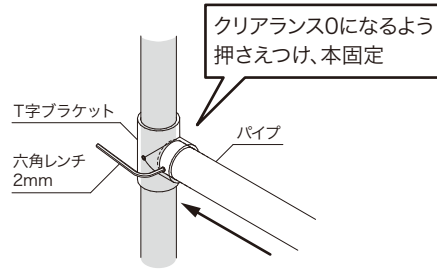
(2) 奥行きパイプを丸型ロングソケットで壁に取り付けます。



(3) 幅パイプを下側から順に取り付け、奥行きパイプと接続し、全体を組み上げます。



5 寸法・水平・垂直を確認しながら、回転止め用ネジを付属の六角レンチで閉めて本固定してください。

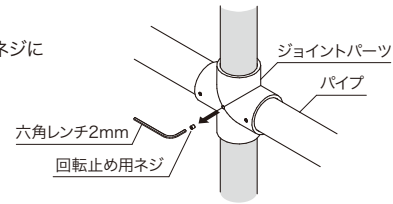


※1で短くカットしたパイプのクリアランスは丸型ロングソケット側で調整するようにしてください。

6 パイプ固定ビスが必要な箇所を固定します。

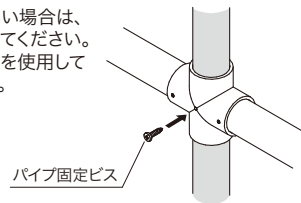
(1) 回転止め用ネジを外します。

※パイプ固定ビスで固定後に回転止め用ネジに戻すことはできません。



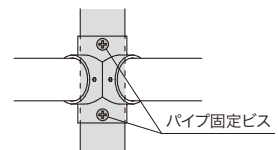
(2) パイプ固定ビスで、パイプとジョイントパーツを固定します。

※ビスが固定しづらい場合は、下穴(φ3)を開けてください。
※電動式ドライバーを使用して固定してください。

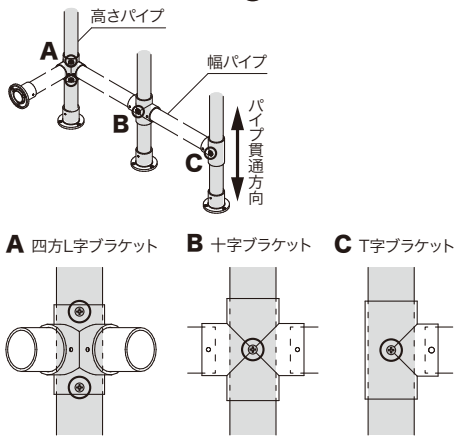


注意

端部をパイプ固定ビスで止める際は、ジョイントパーツが割れないように固定してください。



例：ビス固定位置(下図 ○)



施工される方・お施主さまへ

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

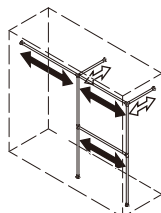
警告 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。

- **パイプに乗ったり、ぶら下がったりしない。**
破損・落下・転倒してケガをするおそれがあります。

耐荷重の目安値

ジョイントパーツ間	耐荷重の目安値
幅方向 (右図 ←→)	35Kg
奥行方向 (右図 ⇄)	10Kg

- 上記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。
- **施工前の確認事項**の条件を満たしているプランのみ対象となります。荷重は分散し、集中荷重・衝撃荷重は避けてください。



注意 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

- **ネジなどが緩んだまま使用しない。**
長期間ご使用している間に、万一ネジなどが緩んでいた場合は、ただちに締めなおしてください。ネジなどが緩んだまま使用しますと、破損や転倒・転落による事故のおそれがあります。ご自身では対処できない場合は、使用を中止して、施工業者様にご連絡またはご相談してください。
- **故意に揺すったり、強い力を加えない。**
破損につながるおそれがあります。
- **耐荷重の目安値を必ず守る。**
重量物を収納するとパイプが破損・落下し、ケガをするおそれがあります。
(「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
(※2) 物的損害とは、家屋・家財に関する拡大損害をさす。